

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	へき地における医療提供体制整備の支援			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課救急・周産期医療等対策室		室長：西嶋 康浩	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第10次へき地保健医療計画 第11次へき地保健医療計画 へき地保健医療対策等実施要綱			
主要政策・施策				主要経費	社会保障、その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県単位で「へき地医療支援機構」を設置し、へき地診療所及び過疎地域等特定診療所並びに医師配置標準の特例措置の許可を受けた病院からの代診医の派遣要請等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行い、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的とする。 また、全国の機構が参加して、国や他の都道府県並びに有識者と取組に関する情報交換等を行う機会を設け、へき地保健医療対策の質の向上を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地医療拠点病院等への医療従事者の派遣要請に関する事。</li> <li>へき地医療拠点病院における医師・歯科医師等派遣登録業務、当該人材のへき地診療所等及び特例措置許可病院への派遣業務に係る指導・調整に関する事。</li> <li>へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する事。</li> <li>へき地診療所等への医師の派遣(へき地診療所等の医師の休暇時等における代替医師の派遣を含む。)の実施に関する事。</li> <li>へき地従事者に対する研修計画・プログラム作成、キャリア形成推進に関する事。</li> <li>ドクタープール機能の強化</li> <li>へき地医療支援機構等連絡会議の開催。</li> </ul>							
実施方法	直接実施、補助							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	259	259	266	262	264	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	259	259	266	262	264		
執行額	227	228	231					
執行率(%)	88%	88%	87%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	無医地区等における巡回診療等の実施回数を前年度以上とする。	無医地区等における巡回診療等の実施回数	成果実績	回	25,545	21,746	22,026	
			目標値	回	23,408	25,545	21,746	22,026
		達成度	%	109%	85%	101%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	補助件数	活動実績	件	34	36	35		
		当初見込み	件	35	34	36	35	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	へき地医療支援機構等連絡会議開催回数	活動実績	回	1	1	1		
		当初見込み	回	1	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/補助件数	単位当たりコスト	百万円	6.7	6.3	6.6	7.5	
		計算式	執行額/補助件数		227/34	228/36	230/35	262/35
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	259	259					
	諸謝金	1	1					
	委員等旅費	2	3					
	庁費	0	1					
	計	262	264					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	未だ無医地区等が多く存在しており、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県・地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	未だ無医地区等が多く存在しており、無医地区等における巡回診療等の実施回数を増やすという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者も応分の負担をしており妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	当該事業は都道府県直接補助事業である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助対象がへき地医療支援機構の運営費であるため、費目・使途が事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	本事業はへき地医療支援機構の運営費であり、各都道府県において、代診等のへき地医療の需要などが、ある程度年度によって増減する。平成26年度においては、執行率が9割弱であり、適正な範囲であると考えられる。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	平成25年度における巡回診療等の実績は減少してしまっているが、各都道府県において、へき地医療の需要などがある程度年度によって増減するものであり、適正な範囲であると考えられる。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みと同程度の実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は都道府県単位で「へき地医療支援機構」を設置し、へき地医療支援事業の企画・調整等を行うものであり、実際に各種事業を行う「へき地における医療提供体制等の実施」とは役割が異なるので、適切な役割分担を行っていると考えられる。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省医政局	5	へき地における医療提供等の実施		
点検・改善結果	点検結果	未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題である。各都道府県におけるへき地医療の需要は年度毎にある程度増減するものであることから、平成25年度における巡回診療等の実績は前年度より減少したところであるが、今後も需要に応じた支援を行うために、引き続き、国の施策として進めていくことが重要である。			
	改善の方向性	自治体から提出された実績報告書より事業による効果や執行実態を把握しているところである。引き続き適切な執行に努めてまいりたい。			
外部有識者の所見					
事業開始10年以上が経過することに鑑み、一度事業の再構築を検討する時期。(井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	未だ多くの無医地区等が存在しており、へき地に対する医療提供体制の確保が十分になされていないのではないかと考えられることから、全てのへき地における医療提供体制の成果実績(活動実績)を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築するべきではないか。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	無医地区等に対する医療提供体制の状況や医療需要の有無等について、今年度調査を実施したところである。本調査の結果を踏まえ、事業内容等の改善を含め検討してまいりたい。				
備考					
○行政評価・監視結果に基づく勧告 平成27年1月総務省 したがって、厚生労働省は、医師の地域偏在等の解消を図る観点から、次の措置を講ずる必要がある。 ② 医師のキャリア形成支援の実施については、地域センターとへき地機構の取組の一体的実施も含め検討すること。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	26	平成23年度	25	平成24年度	26
平成25年度	5	平成26年度	5		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
231百万円

【へき地における医療提供体制整備に対する補助】

※補助率 1/2

【補助】

A. 都道府県(34) 226百万円

B. 事務費 4百万円

事業内容

- ・へき地医療拠点病院等への医療従事者の派遣要請
- ・へき地医療拠点病院における医師・歯科医師等派遣登録業務、当該人材のへき地診療所等及び特例措置許可病院への派遣業務に係る指導・調整
- ・へき地医療拠点病院における巡回診療の実施
- ・へき地診療所等への医師の派遣(へき地診療所等の医師の休暇時等における代替医師の派遣を含む。)の実施
- ・へき地従事者に対する研修計画・プログラムの作成

事業内容

- ・全国の無医地区及び無歯科医地区等の実態を調査するとともに無医地区及び無歯科医地区の解消に向けた総合的なへき地保健医療対策について検討を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	へき地医療支援機構の運営に係る人件費	79			
計		79	計		0
B.検討会委員			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委員等旅費	検討会出席委員への旅費	2			
諸謝金	検討会出席委員への諸謝金	0.8			
計		2.8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	へき地医療支援機構の運営	79	-	-
2	熊本県	へき地医療支援機構の運営	16	-	-
3	沖縄県	へき地医療支援機構の運営	13	-	-
4	三重県	へき地医療支援機構の運営	10	-	-
5	福井県	へき地医療支援機構の運営	10	-	-
6	島根県	へき地医療支援機構の運営	9	-	-
7	徳島県	へき地医療支援機構の運営	9	-	-
8	石川県	へき地医療支援機構の運営	7	-	-
9	北海道	へき地医療支援機構の運営	7	-	-
10	愛媛県	へき地医療支援機構の運営	7	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員(複数)	検討会出席	3	-	-
2	(株)KSソリューションズ	平成26年度無医地区等調査及び無歯科医地区等調査データ入力業務	0.6	随意契約	-
3	一般財団法人日本航空協会	会場貸出	0.2	随意契約	-
4	扶桑速記印刷(株)	議事録作成	0.2	随意契約	-
5	スワンベーカーリー霞ヶ関売店	消耗品販売	0	随意契約	-